

『下肢静脈瘤』の治療法について



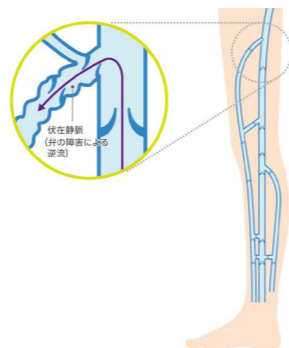
2022.2
no.194

飯塚病院だより

飯塚病院だより no.194

2022年(令和4年)2月16日 編集・発行 飯塚病院 広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

下肢静脈瘤とは？



『下肢静脈瘤』という病気をこ存じてでしょうか？
足の血管（静脈）が拡張してコブ（瘤）のようにふくらんでくる病気です。静脈には静脈弁という構造物があり、立っている時に血液が足の方に戻ってくるのを防いでいます。この弁が壊れてしまうと血液が足の静脈内にたまって、徐々に静脈の壁が引き延ばされて太く、曲がりくねった状態となってきます。この状態が下肢静脈瘤です。生命にかかわるような病気ではありませんが、緩徐に進行する病気で、自然に治ることはありません。

今回は、この下肢静脈瘤の治療法について、解説します。


監修 血管外科部長

松元 崇

01 お電話でのお問い合わせについて

休日や夜間にお電話でのお問い合わせが増加し、診療に支障が出ております。新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせは、まず担当地域の保健所にご相談ください。

また、医師・看護師によるアドバイスや受診可能な医療機関を紹介する、救急医療電話相談窓口が設置されていますので、受診の必要判断に悩まれたら、福岡県等が設置している電話相談窓口をご活用ください。

救急医療電話相談	#7119
小児救急医療電話相談	#8000
福岡県 新型コロナウイルス感染症 ポータルページ	



02 YouTubeで飯塚病院チャンネルの動画配信を行っています

第5回「未病息災術入門」動画を公開しました！
飯塚病院チャンネルでは、さまざまなテーマの医療情報動画を配信しています。

おすすめは飯塚病院の漢方診療科田原英一医師が、体の不調や漢方薬について漢方の見方で原因や対策を解説している「未病息災術入門」です。最新の第5回動画のテーマは「じんま疹からの旅立ちの時」。経験する人も多いじんま疹をわかりやすく解説します。田原医師のユーモアあふれる解説は必見です！



飯塚病院 公式チャンネル

 YouTube



🔍 飯塚病院 YouTube

03 飯塚病院公式LINEで医療に関する「知っ得」情報をお届けしています。

友だち登録して最新情報をゲットしてください！
友だち登録の手順

QRコードから友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ QRコード
- ② 左のQRコードを撮影
- ③ 追加をタップして登録完了

ID検索から友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ 検索
- ② 「ID」を選択 → 「@qsu3427e」を入力
- ③ 追加をタップして登録完了

※登録いただいた方の氏名や画像などは、病院側からはわからないシステムです。

LINE公式アカウント

医療に関する「知っ得」情報を、LINEでお届け。

 飯塚病院



飯塚病院

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83 Tel.0948-22-3800(代表)

QRコードから検索できます

ホームページ



医療者監修コラム
ピカラダ



LINE@



facebook



特集 『下肢静脈瘤』の治療法について

下肢静脈瘤は、個々の患者さんの足の状態や症状をみながら最適な治療法を相談して決めることが大事です。下肢静脈瘤の症状や治療法についてお伝えします。

下肢静脈瘤の症状

見た目だけでなく汚れた血液が足にたまることで様々な症状（ふくらはぎのたるさ、むくみ、足の痛み、つり、むずむず感・ピリピリ感や不快感、かゆみ・湿疹、しみ、潰瘍など）が起こります。朝起きた時は軽くても、午後から夕方にかけて症状が強くなるのも特徴的です。40歳以上の方を対象とした調査では、約10%の方に下肢静脈瘤があったとの報告もあるくらい身近な病気です。



下肢静脈瘤の検査

現在の主流である「超音波検査」は、エコー検査ともいわれ、脚にゼリーを塗って、超音波を発振するプローブを当てるだけです。赤ちゃんにも出来るくらい痛みがなく侵襲もないため安全な検査であり、かつ繰り返し検査を行うことができます。エコー検査によって、血のかたまり（血栓）の有無やどの静脈の逆流防止弁が壊れているかどうか簡単にわかります。



下肢静脈瘤の治療法

治療法には、保存的治療（生活習慣の改善や弾性ストッキングによる圧迫治療）、硬化療法（硬化剤というお薬を注入して固めてしまう治療）に加えて、**血管内焼灼術（レーザー治療）**が一般的です。レーザー治療とは、血管内に細い管（カテーテル）を通してカテーテルの先端から放出されるレーザーによって、血管の内側から血管を焼灼し、閉塞させる治療です。局所麻酔で治療でき、日帰りで治療も選択可能な低侵襲な治療で、根治性も高い下肢静脈瘤の標準的治療ですが、まれにレーザーの熱による皮膚のやけどや周辺の神経の障害による痛みが起こる場合があります。レーザーの熱による合併症を予防するために特殊な麻酔（薄めた局所麻酔薬を大量に注入する）が必要で、まれに深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）が起こることがあり、その予防のために、術後（治療後）に一時的ですが弾性ストッキングの着用が必要になります。

最後に...

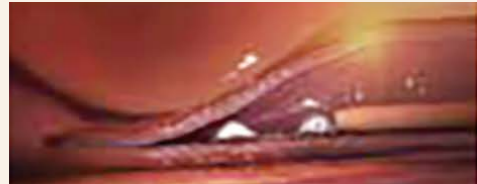
下肢静脈瘤の治療法にはそれぞれメリット・デメリットがあり、静脈瘤のタイプや患者さんの状態に合わせて適切に選択する必要があります。当院ではレーザー治療やグルー治療などいずれの治療法も選択していただけますし、レーザー治療に関してはこれまで500例以上の患者さんの治療を行わせていただいております。加えて一泊二日ないし、日帰りでの治療も選ぶことができ、治療選択の幅もさらに広がっております。思い当たる症状が
ありの方は、かかりつけ医へご相談後、飯塚病院の血管外科へおかけください。なお、血管外科はかかりつけ医からの紹介状と受診予約が必要です。

当院では、昨年より2019年12月に医療保険認可された、**血管内接着剤治療（グルー治療）**も導入いたしました。これは下肢静脈瘤専用が開発された医療用接着剤をカテーテルで血管内に注入して静脈瘤のある静脈を閉塞させる治療です。熱を発生しないので、やけどや周辺の神経の障害や痛みが少なく、術後（治療後）の弾性ストッキング着用が必須ではありませんが、その一方で接着剤によるアレルギーや感染等が起こることがあります。見た目に一部の静脈瘤が残って、追加治療（硬化療法）が必要となる場合もあります。

血管内接着剤治療（グルー治療）



①カテーテルを血管内に挿入する



②医療用接着剤を注入する



③皮膚の上から軽く圧迫する



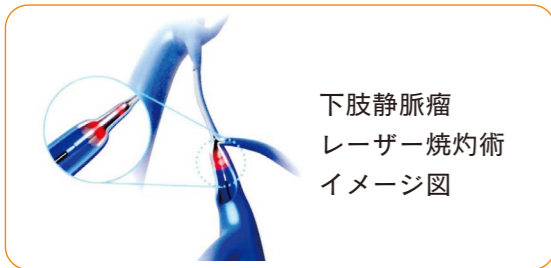
④治療する静脈全体に接着剤を注入し閉塞する



⑤カテーテルを抜き、絆創膏を貼る



下肢静脈瘤レーザー焼灼術を行う ELVeS レーザー 1470@



下肢静脈瘤レーザー焼灼術イメージ図



治療前

治療後